

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関特別支援学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和7年2月6日（木）9：00～10：30
- 3 開催場所 関特別支援学校 4階大会議室

#### 4 参加者

##### 学校運営協議会委員

- ・深見 大輔（同窓会会長）
- ・高木 哲（岐阜県立ひまわりの丘第一学園 次長）
- ・吉田 俊一（Man to Man Passo 株式会社 パッソ岐阜校 マネージャー）
- ・澤井 基光（岐阜県民生委員児童委員協議会会長） 【欠席】
- ・清水 恵子（各務原市福祉の里所長）
- ・ダーリンブル 規子（桜花学園大学保育学部国際教養子ども学科教授）
- ・山口 南美（PTA代表）
- ・水野 友有（中部学院大学人間福祉学部人間福祉科准教授） 【欠席】
- ・森藤 由幸（関市民生委員・地域住民代表）
- ・吉田 純也（株式会社Fデザイナーズ代表取締役）

##### 学校関係者

- ・渡辺 政幸（校長）
- ・上村 篤（小学部主事）
- ・佐橋 朋子（事務部長）
- ・森 雅明（中学部主事）
- ・三宅 千絵（教頭）
- ・高橋こう子（高等部主事）
- ・藤井 大悟（教務主任）

#### 5 会議の概要（協議事項）

##### 学校長挨拶

##### （1）学校評価アンケートについて 意見交換

意見1：いじめは全くないのか。

→いじめはないと捉えている。けんか、SNS等のトラブルはあるが、解決しておりいじめまで発展していない。

意見2：SNSのトラブル、犯罪についてどのように対応しているか。

→トラブルには使い方の指導などすぐに対応している。普段から生徒への使い方などの研修や保護者への情報提供など行っている。

意見3：評価は概ね良好、子どもも充実している。それでも保護者と学校のずれがある。イメージできるものがあればよい。児童生徒と職員との信頼関係は、もう少しエピソードを見せるといい。

→保護者の思いもある。伝え方と受け取り方のずれがある。わかりやすく伝えていきたい。

意見4：トラブルに関しての対応、意思決定支援という点で、どう意思を引き出すかが課題である。CS調査（満足度）に関して、全職員で統一することが難しい。

意見5：実際に参観することで学校での様子がわかる。機会を増やしてほしい。

意見6：生徒からのアンケート内容が最も大切である。評価が良好なのは、先生方の教育への熱意と創意工夫、苦勞の賜物である。保護者の評価は客観的な視点だけでは回答しづらい項目もありどこまで参考にすれば良いか判断に困ると思うが、そういった意見にも向き合う貴校の姿勢こそが素晴らしい。検証、改善を繰り返しながら今後よりよい結果になることを望んでいる

## （2）自校反省について 意見交換

意見1：小学部の欠席が多い児童の欠席理由は何か。授業を系統立てるとはどうか。医療的ケア児の使用している機器の電源の停電対策はどのようにしているか。生徒、教員数の減少をチャンスと捉え、近隣の教育施設と連携をとるとよい。

→訓練、リハビリ等で欠席。小中高合わせて、不登校はいない。小学部から高等部までを繋げて考えている。自家発電、ポータブル電源はあるが、停電時には課題が残る。引き続き対応策を考えていく。

意見2：常勤看護師は何名いるか。通学支援モデルについて知りたい。

→今年度常勤看護師は2名。非常勤は7名。通学支援のモデル事業が始まった。保護者が車両と契約し、今年度は当校で実施した。来年度は全県下でもモデル事業を実施予定。地域格差の課題がある。

意見3：進路については保護者の理解が重要だと感じています。

意見4：児童生徒それぞれの障がい特性やニーズをしっかりと捉え、カリキュラムの設定やICT機器を活用した教育が実施している。教育以外の部分における課題（事故・防災・メンタルケア等）に対し適切な対応がなされており、保護者、生徒にとっても心強い体制だ。

## （3）委員長挨拶

学校の変化がある中、学び、生きる保障をしながら、楽しく活動をしている。災害について、マップを作るとよい。地域などつながることが大切。修学旅行の看護師同行の支援では、親離れ、子離れが難しいがとても大切なことをできる機会ではないか。変化をどう生かせるか期待している。

## 6 会議のまとめ

第3回運営協議会では、学校評価アンケートや自校反省について意見交換でき、学校の方針や活動に共感されていることを改めて認識した。児童生徒が減少していく中でどのように学校が変化していくのか期待もされている。卒業後の進路、医療的ケア、防災等今後も継続して取り組んでいきたい。